

在宅医療・介護連携推進協議会	協議資料
令和8年2月6日	
オンライン開催	

令和7年度 第4回  
立川市在宅医療・介護連携推進協議会  
協 議 資 料

令和8年2月6日（金）

立川市 保健医療部 高齢政策課

報告事項①

医療と介護の連携強化に関する多職種研修事業 第1回および2回報告について	
内容	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>第1回目 大規模災害に備えて</p> <p>日時 令和7年12月2日(火) 18:30~20:00</p> <p>講師 東京都医師会 小平 祐造理事</p> </div> <p>参加人数: 55人</p> <p>職種: 医師 4人、 歯科医師 1人、 薬剤師 3人            理学療法士 1人、 看護師 11人、 介護職員 2人            社会福祉士 1人、 ケアマネジャー 13人            施設管理者・施設職員 7人、 行政職員 12人</p>
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>第2回目 避難要支援者について</p> <p>日時 令和7年12月11日(木) 18:30~20:00</p> <p>講師 東京都保健医療局医療政策部            災害医療担当課長 上村 淳司氏</p> </div> <p>参加人数: 59人</p> <p>職種: 医師 4人、 歯科医師 1人、 薬剤師 2人            理学療法士 2人、 看護師 13人、 介護職員 4人            社会福祉士 2人、 ケアマネージャー 16人            施設管理者・施設職員 5人、 行政職員 10人</p>
アンケート結果 (一部抜粋)	<p>第1回目 大規模災害に備えて (回答数 24人)</p> <p>① 満足度 : 満足 16人(66%)、やや満足 8人(33%)</p> <p>② 今後について:役に立つ 16人(66%)、やや役に立つ 6人(25%)</p> <p>③ 感想(抜粋)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・改めて大規模災害が起きた時に、自分に何ができるかを考える事ができた。</li> <li>・大規模災害に備えた国、都の考えや方針がよく分かった。</li> <li>・災害の対策だけでなく災害関連死についての重要性も知ることができてよかった。</li> <li>・今回のような研修をもっと多く広めることで、知らない方が情報を得て、地域みんなでお互いを支援できる事が沢山あると思った。</li> </ul>

	<p>第2回目 避難要支援者について (回答数 18人)</p> <p>① 満足度 : 満足 15人 (83%)、やや満足 3人 (17%)</p> <p>② 今後について:役に立つ 12人 (67%)、やや役に立つ 5人 (28%)</p> <p>③ 感想 (抜粋)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ご利用者様が災害関連死のほうに入らないために、医療をひっ迫させないために、ケアマネ (介護職、医療職としてなどもあり) にできることは何か、考え続けたい。</li> <li>・大変有意義だった 災害時要配慮者対策、災害関連死対策の実状と今後取り組まなければならないことがよく理解できた。また災害に備えて事前にできることが具体的でわかりやすかった。</li> <li>・災害関連死に着目し、要配慮者に対し避難所及び在宅での生活でいかに適切な対応をするのが大切かということを改めて考えさせられた。</li> <li>・要配慮者が高齢者、障がい者だけでなく妊産婦、新生児、小児にも及ぶこと、当たり前でだが自分の視点の狭さに気付けた。</li> </ul>
お知らせ	<p>第3・4回「腎不全、人工透析、在宅腹膜透析、腎不全終末期の緩和ケア」です。第3回目は令和8年1月13日(火)に開催しました。第4回目は、事情により延期となり、現在日程調整中です。</p> <p>第5回目は、現段階では未定です。決まり次第お知らせいたします。</p>

報告事項②

第7回 羽衣町認知症見守り声掛け模擬訓練（報告）	
目的	認知症などで道に迷った高齢者役の人に地域住民が実際に声をかけ、保護する模擬訓練を通じ、地域に認知症の正しい理解と支援を学ぶ。
内容	<p>開催日：令和7年6月7日（土曜日）            時 間：9時30分から11時30分            内 容：参加者が4～5名のグループになり、役割分担。認知症役の方が、地域の個人宅を訪問し声をかける（開催エリアには、個人宅にはちらしを全戸配布、商業施設等にチラシを掲示などの周知あり）            参加者：自治会員・民生委員等の住民、地域包括支援センター、近隣医療機関、介護事業所、行政など。</p> <p>【別紙 1】まちねっと 第49号 2025年10月 より一部抜粋            動画準備中</p>
今後の流れ	<p>羽衣自治会では、来年度（令和8年度）から、6月の第1土曜日に定例で行うこととなった。</p> <p>市の高齢者福祉介護計画 基本目標2の認知症になっても、そうでない人も、ともに暮らせるまちづくりの実現に向けた活動と考えている。羽衣町以外でも、不定期で開催されており、活動の広がりを支援していきたい。</p>

報告事項③

令和7年度 東京都在宅療養支援窓口取組推進研修（報告）について	
目的	在宅療養支援窓口に求められている役割や、効果的取組について理解することにより、各区市町村の在宅療養支援窓口におけるより一層の取組推進を図る。
日時 ・ 場所	令和8年1月15日（木）13時～16時 東京都看護協会（東京都新宿区西新宿4-2-19）
実施主体	東京都（実施機関：公益社団法人東京都看護協会）
内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 在宅療養支援窓口の役割など（東京より説明）</li> <li>2. 区市町村の取組紹介（立川市、板橋区、足立区）</li> <li>3. 区市町村ごとに分かれて情報共有</li> <li>4. 「在宅療養支援窓口に求められていること」ワールドカフェ 10×4回</li> </ol>

報告事項④

「認知症サポート検診」について	
目的	<p>認知症に対する正しい知識の普及啓発や治療方法に係る情報提供を推進するとともに、認知機能検査と検診後のサポートを推進することにより、認知症の早期診断・早期対応を促進することを目的とする。</p>
内容	<p>① 検診事業の流れ（別紙2）            対象者：1年以内に本事業を利用しておらず、認知症に関する診断または治療を受けていない50歳以上の市民</p> <p>② 使用する様式（別紙3）            現行の「かかりつけ医等によるもの忘れ相談事業」で使用している連絡票・報告書を改変し、様式案を作成。</p> <p>③ 検診ポスターおよびチラシ（別紙4・別紙5）            検診の周知のため、ポスター及びチラシを作成。            市内医療機関、地域包括支援センター、福祉相談センター、介護事業所、公共施設、認知症サポーター養成講座、地域ケア推進会議、小地域ケア会議等で配布・掲示を依頼する。また、庁内関係課においても周知協力依頼を行う。</p> <p>※①②について：立川市医師会会員のご意見を伺うためのアンケートを実施中。修正がある場合は協議会当日に改訂版をお示しいたします。</p>
今後の流れ	<p>2月を目途に立川市医師会会員向けの説明会を実施。令和8年度予算にて検診実施が決定したのち、意向調査にて「参加意向あり」と回答した医療機関にて実施する予定。</p> <p>詳細については追って立川市医師会へ連絡する。</p>

報告事項⑤

令和7年度 東京都地域医療構想調整会議 在宅療養ワーキンググループ（報告）について																							
概要	医療法第30条の14に基づき東京都地域医療構想の実現に向けた取組について協議するため、「東京都地域医療構想調整会議」を構想区域ごとに設置する。																						
開催日等	開催日時：令和7年12月9日(火) 午後7時00分から午後8時30分 開催方法：Web会議形式「Cisco Webex Meetings」																						
参加者	<p>立川市参加者</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">区分</th> <th style="width: 40%;">役職</th> <th style="width: 30%;">氏名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>地区医師会代表 在宅医代表</td> <td>東京都医師会医療保健・地域医療 担当理事／立川市医師会副会長</td> <td>荘司 輝昭 様</td> </tr> <tr> <td>歯科医師会代表</td> <td>立川市歯科医師会 会長</td> <td>片岡 滋 様</td> </tr> <tr> <td>薬剤師会代表</td> <td>東京都薬剤師会副会長</td> <td>根本 陽充 様</td> </tr> <tr> <td>看護協会代表</td> <td>立川中央病院看護部長 東京都看護協会会員代表</td> <td>伊東 恵美子 様</td> </tr> <tr> <td>介護支援専門員 研究協議会代表</td> <td>東京都介護支援専門員研究協議 会・運営委員／居宅介護支援事業 所しごかい相談室・管理者</td> <td>紺屋 幸子 様</td> </tr> <tr> <td>区市町村代表</td> <td>保健医療部高齢政策課長</td> <td>村上 満生</td> </tr> </tbody> </table>		区分	役職	氏名	地区医師会代表 在宅医代表	東京都医師会医療保健・地域医療 担当理事／立川市医師会副会長	荘司 輝昭 様	歯科医師会代表	立川市歯科医師会 会長	片岡 滋 様	薬剤師会代表	東京都薬剤師会副会長	根本 陽充 様	看護協会代表	立川中央病院看護部長 東京都看護協会会員代表	伊東 恵美子 様	介護支援専門員 研究協議会代表	東京都介護支援専門員研究協議 会・運営委員／居宅介護支援事業 所しごかい相談室・管理者	紺屋 幸子 様	区市町村代表	保健医療部高齢政策課長	村上 満生
区分	役職	氏名																					
地区医師会代表 在宅医代表	東京都医師会医療保健・地域医療 担当理事／立川市医師会副会長	荘司 輝昭 様																					
歯科医師会代表	立川市歯科医師会 会長	片岡 滋 様																					
薬剤師会代表	東京都薬剤師会副会長	根本 陽充 様																					
看護協会代表	立川中央病院看護部長 東京都看護協会会員代表	伊東 恵美子 様																					
介護支援専門員 研究協議会代表	東京都介護支援専門員研究協議 会・運営委員／居宅介護支援事業 所しごかい相談室・管理者	紺屋 幸子 様																					
区市町村代表	保健医療部高齢政策課長	村上 満生																					
内容	<p>議事テーマ 「これまでの振り返りと2040年に向けた取組の方向性について」</p> <p>内容</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 平成30年度から全区市町村で介護保険上の「在宅医療・介護連携推進事業」が実施されるなど全区市町村において、在宅療養体制の構築が進められていますが、これまでの取組を振り返って評価できる点、改善すべき点はどのような事項と考えるか。</li> <li>2. 現行の地域医療構想では病床の機能分化及び連携が中心でしたが、新たな地域医療構想では外来・在宅、介護連携等も対象となる中で、これまでの取組を具体的に進めるべきと考えますか。取組を協議する場や、参加する職種をどのようにするのがふさわしいか。</li> </ol> <p>※協議会当日、区市町村代表で参加した高齢政策課長より、内容のご報告をいたします。</p>																						

報告事項⑥

在宅医療推進強化事業について	
概要	在宅医療が必要な高齢者等が住み慣れた地域で暮らすために、24時間診療できる体制構築とデジタル技術を活用した医療情報を共有するシステムの構築する
内容	<p>立川市内のかかりつけ医の往診対応を受けている市民は、日中については対応が可能だが、平日夜間・休日については、本人の意思に反して救急搬送されてしまうケースがある。この事業の開始によって、かかりつけ医の平日夜間・休日の往診が支援されることで、かかりつけ医の往診を受けている市民が24時間365日往診を受けられる状態となる。</p> <p>このような体制整備事業は立川市だけでなく、周辺自治体と連携して実施することが重要で、周辺自治体全てがこの事業を実施する予定である。</p>
備考	東京都区市町村在宅療養推進事業補助金を活用し予算要求中。

報告事項⑦

令和8年度 在宅医療・介護連携推進協議会日程（案）について				
日時・会場		日 時		会場
	第1回	令和8年5月22日（金）	13:30～15:00	302 会議室
	第2回	令和8年9月 2日（水）	13:30～15:00	302 会議室
	第3回	調整中	13:30～15:00	
	第4回	令和9年2月 5日（金）	13:30～15:00	101 会議室